

[ポスター発表/査読なし] 研究報告

インターネットと運用技術シンポジウムポスター発表原稿の 準備方法 (2026年9月版)

運用 蒲夫^{1,a)} 能鳩 憂奈¹ 竹酔 細羽^{1,†1,b)}

How to Prepare Your Paper for IOTS Poster session (version 2026/9)

UNYO KABAO^{1,a)} NORBERT WIENER¹ TICS CYBERNE^{1,†1,b)}

1. はじめに

情報処理学会インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS) ではポスター発表セッションを設ける。査読のあるシンポジウム論文やポスター論文と明確に区別できるように、シンポジウム論文集に掲載する査読なしポスター発表の予稿は、本稿のように最大2ページとする。投稿にあたっては、このテンプレートを参考にして予稿を作成されたい。

予稿のフォーマットは研究会報告のそれをもとにしたものである。ただし、ポスター発表の予稿の本文に記載する内容は、発表の概要のみであるため、研究会報告での「概要」(著者氏名と本文の間に小さめの文字で表示される部分。T_EX ファイル中で`\begin{abstract}`から`\end{abstract}`まで)は不要である。これら以外に大きな相違はないので、「研究報告原稿 (PDF ファイル) 作成について^{*1}」もあわせて参照されたい。

ポスター発表セッションの予稿に書くべき内容は、

- 和文題名
- 著者情報 (氏名・所属)
- 英文題名
- 英文著者情報 (氏名)
- 本文 (二段組で記載された発表概要)

である。題目の左上には、査読なしポスター発表セッションの予稿であることを示す「[ポスター発表/査読なし] 研究報告」を入れ、シンポジウムの他の査読論文と容易に区別

できるようにしていただきたい。このサンプル L^AT_EX ファイル (poster-jnsample.tex)、クラスファイルおよびスタイルファイル (ipsj.cls と iotsnposter.sty) を使えば、これらについて特に苦勞することはないはずである。なお、元々の概要を省いたことと、和文題目の左上にポスターセッションの予稿であることを示す表記を追加、などの変更ために ipsj.cls を修正した。「L^AT_EX スタイルファイル、MS-Word テンプレートファイル^{*2}」からダウンロードしたスタイルファイルを間違えて使わないように注意されたい。MS-Word で予稿を準備する場合は、この PDF ファイル「poster-jnsample.pdf」を参考にして、レイアウトを適宜変更されたい。

1-2 ページで記述できる本文の文字数は、和文・英文題目の長さや著者情報によって異なってくる。この例では、二段組、一行あたり 27 文字で、60 行少々記述できるので約 1600 文字以上となる (このサンプル L^AT_EX ファイル、PDF ファイルでは 65 行である)。発表する内容を最大2ページに収まるよう、コンパクトにまとめて欲しい。本文部分については、章立てして読者に伝わりやすく記述して欲しい。

予稿を準備する場合、寸分違わずにこのレイアウトに一致させる必要はない。この L^AT_EX テンプレートを利用することを推奨するが、必須ではないし元々の研究会報告のテンプレートでも L^AT_EX と MS-Word では微妙にレイアウトは異なっている。ただし、前述の書くべき内容 (題目・著者情報・二段組の発表概要) があまりにも不十分であった場合には、不備として投稿を受理しないこともある。

投稿する PDF ファイルは、フォントを必ず埋め込み、セキュリティをかけずに作成する必要がある。詳細はこれまで前述の「研究報告原稿 (PDF ファイル) 作成について」に書かれているので、こちらを参照されたい。

ここまで書いたことは、IOTS のポスター発表セッション

¹ 情報処理学会

IPSI, Chiyoda, Tokyo 101-0062, Japan

^{†1} 現在、逢坂インターネット運用技術大学院大学

Presently with Ousaka Institute of Internet and Operation Technology

^{a)} cover.unyo@ipsj.or.jp

^{b)} cybernetics@oiot.ac.jp

^{*1} <http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/genko.html>

^{*2} <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

ン予稿の作成において注意してもらいたい話題であるが, それ以外は通常の研究会報告原稿の作成と大差はない. $\text{\LaTeX}$ で予稿を準備するときは, 元々の `tech-jnsample.pdf` と `tech-jnsample.tex` に書かれている内容を一読しておくことを勧める.

2. おわりに

さて最大2ページを満たすには少々寸足らずになってしまった. 工夫の方法は様々だが, ここは時節柄 (学生諸氏におかれては意味不明かもしれないが) 伝統的な手法で余白を埋めることとする. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう. ぞうの卵はおいしいぞう.

参考文献

- [1] 文献 1
- [2] 文献 2
- [3] 文献 3